

会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回病院運営審議会		
開催日時	令和4年(2022年)11月24日(木) 13時30分～14時30分		
開催場所	市立豊中病院 講堂 (管理棟5階)	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	市立豊中病院 経営企画課	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	足立委員、今井委員、勝原委員、北村委員、近藤委員、笹委員、多田委員、田辺委員、中野委員、的場委員	
	事務局	本荘事業管理者、吉川総長、岩橋副院長、中川副院長、藤田副院長、今村医務局長、西尾中央診療局長、宇佐美薬剤部長、大東事務局長、松永事務局次長兼病院総務課長、中上医療安全管理室長、秋田地域医療連携室長、鍋島がん相談支援センター長、櫻田医療情報室長、豊田医事課長、坂口事務局次長兼経営企画課長、木下経営企画課主幹、垣内病院総務課主幹、岡村経営企画課長補佐、高橋経営企画課主査	
	その他	病院運営計画策定支援事業者 アイテック株式会社 川崎、川渕	
議題	<p>(1) 病院運営計画(素案)について</p> <p>(2) 答申書(案)について</p> <p>(3) その他</p>		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

令和4年度第3回病院運営審議会 審議等の概要

1. 開会

2. 委員出席状況報告

- ・事務局から、全委員12人中10人出席により病院運営審議会第8条第2項に基づき、本審議会の成立を報告

3. 議事

(1) 病院運営計画（素案）について

- ・事務局から、資料1、2に基づき説明

《意見等》

委員： 計画（素案）P35の目標指標を「職員満足度」から「認定看護師・専門看護師等の数」に変更している点について、資格取得やスキルアップ等の支援体制の評価指標とする説明であったが、現在、認定看護師・専門看護師等が33名いる中、目標が45名というのは難易度として適切か。

事務局： 認定・専門看護師等の資格取得は、大学院の受講など育成に数年がかかり、難易度は高いものと理解している。年間2、3名の取得をめざし、退職者も含めた目標値とし、5年後の当院において必要な数と考えている。

委員： 資格者を増やすことを人材育成といえるのか。

事務局： 資格を取得すること自体を目標としている訳ではなく、医療が高度化・専門化する中で、看護師等の専門職がそれぞれの専門性の向上を図り、その役割を果たせるようになるという一つの指標として、資格取得を目標指標として設定した。

委員： 認定看護師等の専門性の高い職員が増えることで院内全体の質が上がり、それに準ずる人たちが養成されていくということであれば良いが、認定看護師・専門看護師は看護師全体の数から見ると非常に少なく、この指標の達成自体を目標とすると、全体の質がどう上がったか、結果が見えにくいと思った。

また、「働きがいのある職場づくり」の項目においては、職員満足度調査で「自分の大切な人に当院を勧めますか」という指標をもって経緯を見る、という視点も一案としてあると思う。

委員： 現状の認定看護師・専門看護師がどう活躍できているのかを評価すべきではないか。認定看護師・専門看護師等の活躍の結果、患者満足度が高まっているのであれば、がん医療等の専門医療に力を入れていくという今後の方針を踏まえると一定評価していかなければならない。ただ、45人という目標値の根拠は必要と思う。

事務局： 資格取得者数を増やすことが最終目標ではなく、高度・専門化する医療の中で、認定看護師・専門看護師等の専門資格を取得するという目標を掲げることで、専門的な医療に対応していく看護職場全体の機運や職場風土を醸成していくことが目標であり、あくまで手段としてこの指標を設定した。

委員長： 「働きがいのある職場づくり」の項目は、目標の数値化が難しい項目であり、やりがいや専門性の追求が重要と考え、この指標を設定したと考える。この指標だけではなく、他の目標指標や取組内容も併せて見ることで、一定の評価や進捗管理ができるのではないかと思う。

委員： 今後人口が減少し看護師等の人材も減っていく中で、資格取得者を増やすことが難しくなることが想定されるため、目標値は慎重に考える必要がある。目標値は「人数」ではなく「看護師数の何%が資格を取得している」という見せ方もできると思う。

委員長： 現在の目標値は、現実的に何人までなら支援できるといった見通しのもとに設定された数値であると推察する。

委員： 「働きがいのある職場づくり」の項目の指標について、「職員満足度」から「認定看護師・専門看護師等の数」に変更されたが、計画（素案）のP33の「患者サービスの向上」の項目では、「患者満足度」が目標値になっている。一方で、職員満足度は指標に設定しないというのに違和感がある。良い病院は良いスタッフを確保することも重要であるならば、職員満足度調査の数字も押さえておく必要があるのではないか。

事務局： 「認定看護師・専門看護師等の数」は、人材育成に関連する代表的な資格として、他院とも比較できる指標として設定した。職員満足度については、これまで当院で正式に実施したことがなく、調査方法や調査項目などの制度設計を今後進めていく段階であり、詳細が固まっていない状況での目標設定は難しいと判断した。ただし、評価に使用しない訳ではなく、職員満足度調査の結果も踏まえた評価を年度ごと審議会で報告していく。

委員： 「認定看護師・専門看護師等の数」や「年間時間外勤務時間数960時間を超える医師数」など、人数を設定している目標指標は、母数が変動値のため、単位は「人」よりも「%」の方が、イメージしやすく評価の単位としては適しているのではないか。また、「年間時間外勤務時間数960時間を超える医師数」の時間外勤務時間には、豊中病院での勤務以外の時間も含まれるのか。

事務局： 単位については、人数表記でなく、パーセント表記とする方向で検討する。

当院以外で診療等の勤務を行う際は、事前に申請する制度を設けており、目標指標の時間外勤務時間数960時間には、他院での勤務時間も含めている。

委員： 収支見通しについて、新型コロナウイルス感染症に係る補助金は、どのような基準で支給されるのか。また、令和4年度の支出について、材料費、経費、その他が非常に増えているが、これは今後高度医療を進めるための準備としての投資のような理由で増加しているのか。

事務局： 新型コロナウイルス感染症に係る補助金は、厚労省の通知に基づいて算出している。補助金額は、処置実績やベッド確保等により支給されるもので、病院の減収等を考慮して支給されるものではない。令和4年度の材料費、経費等の増加については、物価高騰が大きく影響している。

委員： 医療をコロナ流行前に戻していくため、コロナ関連の補助金がある間に、補助金を豊中病院の環境整備等の投資に充てることも一案なのではないか。

事務局： 今後も補助金が出るかどうか見通せないため、補助金が出る前提で対応を検討することは難しいと考えている。

委員長： 事務局で今回いただいた意見を踏まえた修正を検討し、修正内容は委員長に一任することとしたうえで、この計画（素案）を答申としてよろしいか。

- ・「答申案 市立豊中病院運営計画（素案）（令和5年度～令和9年度）」を当審議会の答申とすることについて承認

（2）答申書（案）について

- ・事務局から、資料3に基づき説明

《意見等》

委員長： 「答申書（案）」の内容について意見がなかったことから、この答申書（案）をもって、委員長から市長に答申する。

（3）その他

- ・事務局から、参考資料に基づき説明

《意見等》

委員： パブリックコメントはどのように実施するのか。

事務局： 当院、市役所及び各出張所に計画（素案）を設置し、当院ホームページでも計画（素案）を公開し意見を募集する。意見募集期間は令和4年12月26日から令和5年1月19日を予定している。意見集約後は、いただいた意見をもとに事務局で修正を検討し、委員長に確認いただいたうえで策定する。

4. 閉会

<以上、終了>